

プロジェクト 1 薬剤師支援システムの構築と医薬品の適正使用研究

研究プロジェクト参加研究室及び担当責任者

平成 22 年 4 月 1 日現在

研究者名	所属・職名	プロジェクトでの研究課題	プロジェクトでの役割
土橋 朗	薬学研究科・教授	薬剤師の生涯教育支援サイトの構築	知識集約的なインターネットポータルサイトの構築
森川 正子	薬学研究科・教授	循環器疾患と代謝性疾患に対する薬物療法の評価	医薬品の適正使用を目的とする薬物治療の評価
山田 純司	薬学研究科・教授	循環器疾患と代謝性疾患に対する薬物療法の評価	
小杉 義幸	薬学研究科・准教授	薬剤師業務を支援する医薬情報データベース及び情報ネットワークの構築	医薬品の適正使用を目的とするデータベースの構築
山田 安彦	薬学研究科・教授	癌化学療法の適正化に向けた患者個別の投与設計支援システムの構築	医薬品の適正使用を目的とするデータベースの構築
高柳 理早	薬学研究科・准教授	癌化学療法の適正化に向けた患者個別の投与設計支援システムの構築	医薬品の適正使用を目的とするデータベースの構築
横山 晴子	薬学研究科・助教	癌化学療法の適正化に向けた患者個別の投与設計支援システムの構築	
畝崎 榮	薬学研究科・教授	癌化学療法の適正化に向けた患者個別の投与設計支援システムの構築	医薬品の適正使用を目的とするデータベースの構築
竹内 裕紀	薬学研究科・准教授	癌化学療法の適正化に向けた患者個別の投与設計支援システムの構築	医薬品の適正使用を目的とするデータベースの構築

研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

本計画は医薬品の適正使用に関わる医薬品および医療情報を蓄積し、データベース化すると共に、これらのデータベースを包括する知識集約的なインターネットにおけるポータルサイトを設け、薬剤師の業務活動および学習活動を支援することを目的とする。

この目的を達成するため、1) 薬物治療に関する処方箋、薬歴、副作用情報などを収集してデータベース化し、薬剤疫学的手法を用いて医薬品の使用実態を解析して、医薬品の適正使用に向けた提案を行う。また、2) 医薬品情報として医療用医薬品の添付文書とインタビューフォーム、有効成分、添加物などの情報をデータベース化し、副作用、相互作用

用、乳小児、高齢者、妊婦・授乳婦への注意事項などのリスクマネジメントに関わる項目を横断的に検索できるシステムを作成する。3) アンチ・ドーピング活動に必要なドーピング禁止物質と禁止方法をデータベース化する。4) 慢性疾患を対象とした薬物療法を患者の主観的評価を加えて評価する。5) 癌化学療法のプロトコルを収集・評価し、患者個別の用法・用量設定を可能とする投与設計支援システムを構築する。また、6) 医薬品の適正使用に向けた薬剤師業務の実態とその消費者からの評価を調査する。

本計画は上記のデータベースを含めた情報公開のためにポータルサイトを構築し、医療施設との双方向情報通信を実現する。また、大学、医療施設、および地域薬剤師会より動画情報を含む教育用資源を収集・公開し、薬剤師の生涯教育に向けた知識共有を推進するものである。